

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	芦別市	上芦別	平成29年度	令和元年度	芦別市

II 地区の成果目標ごとの未達成理由等

成果目標項目	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営コストの縮減	1経営体中1経営体が未達成。 消費税増税や資材の高騰によりコストがかかってしまったことにより目標達成にならなかった。	低価格な資材を使用するなど、今後経営コストの縮減に取り組むよう指導・助言を行う。令和3年度に目標達成予定。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 芦別地区には5つの「人・農地プラン」が策定されており(黄金地区、常福地区、野花南地区、新城地区、芦別中央地区)、5地区とも担い手はいるが十分ではなく将来の農地利用のあり方については担い手に集約するとされているところであり、今後、農地所有者の希望を尊重しつつ、農地中間管理機構の活用を図ることで農地を集積していく。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 芦別地区の5つの「人・農地プラン」では合計112経営体(うち認定農業者101経営体)が中心経営体として位置づけられており、それぞれの担い手は水稻を中心に花きやメロンなどを取り入れた複合経営やそばや小麦などの土地利用型農業を展開し農業所得の確保に努めている。しかしながら、どの地区も担い手はいるものの十分ではないのが現状であり、同プランにおける担い手の育成・確保のあり方については、法人や大規模農家が主体となって後継者の育成や新規就農者の確保が必要であることとされているため、各経営体の意向を尊重しつつ融資や青年就農給付金等の各種施策の活用を推進して将来の担い手の育成・確保を図る。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 人・農地プランは平成24年6月に策定され、その後、年に1度地域との話し合いの場を設け更新され、最終更新日は平成31年3月26日に見直しが行われた。主な見直し内容として、地域の実情と照らし合わせ地域の中心経営体の更新や将来の今後の取組について変更された。今後も地域との話し合いを通じて各中心経営体の意向を尊重しつつ、未達成の要因も踏まえ令和2年3月以降、毎年度見直しを実施する。</p> <p>4 未達成者への対応等について 上記の未達成の経営体については、人・農地プランにおける中心経営体に位置づけられている。作付が始まる前である3月に指導を行い、以降経営体の農作業が落ち着く時期(7月～8月)に農業経営の状況を確認・指導を実施し収穫後についても確認・指導を実施して、目標達成までフォローアップする。</p>

〔記入要領〕

- Iの「目標未達成となった主な理由等」欄については、経営体の成果目標の項目ごとに主な理由を記入する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄については、これまでの達成状況等の推移を踏まえ、具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について記入する。
- IIの「未達成理由の総括」欄については、地区の成果目標ごとに、未達成理由を総括的に整理する。
また、「目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等」欄についても、地区の成果目標ごとに具体的な改善措置の内容、目標達成の見込みとその時期について総括的に記入する。
- IIIについては、IIで整理した地区の成果目標未達成理由等を考慮の上で、①地区内の担い手への農地利用集積状況や出し手・受け手の現状等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、②地域が必要とする担い手と地域内での役割分担の状況等を踏まえた課題と今後の具体的な対応策、③人・農地プランと現状との乖離状況等を踏まえた具体的な対応策等、④未達成者への今後の対応その他の課題と対策について記入する。